

ホクコー トップジン®M粉剤DL

■種類名：チオファネートメチル粉剤
 ■有効成分：チオファネートメチル-----2.0%
 ■PRTR法指定物質：チオファネートメチル [第1種] -----2.0%

■登録番号：第22105号
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)
 ■登録初年：2008.02.06
 ■性状：類白色粉末 45μm以下
 浮遊性指数20以下
 ■有効年限：4年
 ■包装：3kg×8袋、20kg×1袋

【特長】

- 広範囲の病害に有効なベンゾイミダゾール系殺菌剤。
- 麦類の赤かび病、だいでずの紫斑病の他、らっかせいの褐斑病に適用がある。

【適用内容】(2016年12月14日現在)

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	3~4 kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内(種子への処理は1回以内)
小麦	赤かび病			3回以内(出穂期以降は2回以内)		4回以内(種子への処理は1回以内、散布及び無人ヘリ散布は合計3回以内、出穂期以降は2回以内)
麦類(小麦を除く)		4 kg/10a	3回以内(出穂期以降は1回以内)	3回以内(種子への処理は1回以内、出穂期以降は1回以内)		
だいでず	紫斑病		収穫7日前まで	4回以内		4回以内(種子への処理は1回以内)
らっかせい	褐斑病	5回以内(種子への処理は1回以内、は種後は4回以内)				
こんにやく	乾腐病	種いも重量の2~3%	植付前	1回	種いも粉衣	1回
ねぎ	小菌核腐敗病	9kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	株元散布(散布後土寄せ)	5回以内(種子への処理は1回以内、苗根部浸漬及び苗床灌注は合計1回以内、散布及び株元散布は合計3回以内)
ごぼう	菌核病	3kg/10a				4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
レタス			2回以内	4回以内(種子への処理は1回以内、灌注は1回以内、散布は2回以内)		
すいか	炭疽病	4kg/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	6回以内(種子への処理は1回以内、は種後は5回以内)
れんこん	褐斑病	3~4 kg/10a	3回以内	3回以内		

【効果・葉害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤はできるだけ飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しぼって散布すること。
- 大豆の紫斑病に対しては、落花後~若莢期に2~3回散布すること。
- こんにやくの種いも粉衣を行う場合は、適当な容器の中で本剤が均一にいもに粉衣するよう少量ずつていねいにまぶすこと。湿粉衣はさけ、粉衣した種いもはそのまま植付けること。なお、薬剤処理した種いもは、食料、飼料として用いないよう十分注意すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 本剤の連続使用によって、薬剤耐性菌が出現し、効果の劣った事例があるので、過度の連用をさけ、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用すること。
- 本剤を散布した稲わらは家畜の飼料に使用しないこと。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。